

平成 27 年度事業報告

～基本理念～

みんなの力で人にやさしい地域づくり

重点事業

◇地域担当制による小地域福祉活動への支援（P 13～）

平成 27 年度の生活困窮者自立支援法の本格施行や介護保険制度改正による新地域支援事業などの新たな制度・施策の実施に伴い、地域の生活課題・福祉課題や社会的孤立といった地域の困りごとを早期発見、早期対応し、相談や支援につなぐ取り組みを地域と共に推進するため、地域担当を中心に職員全体がチームとなり、今年度はシートを活用し行政区訪問時に聞き取りを行いました。

次年度の新地域支援事業にも活かすために地域住民の個別ニーズにしっかりと向き合い、地域と課題を共有し住民とともに解決を目指すため継続して進めていきます。

◇ファミリー・サポート・センター事業（P 24～）

今年度の新規受託事業として、9 月事業開始に向けアドバイザーを雇用し環境整備、事業の啓発等の開設準備をすすめました。会員同士で助け合う相互援助活動を支えるため、双方が安心して依頼、活動ができるよう行政とも協議し講習会の内容を検討し主に事故を未然に防ぐための研修を実施しました。

会員は当初 100 人を見込んでいましたが、思ったより会員数が増加せず、啓発不足が懸念されましたので、地域にも PR しサロン等に積極的に出向き会員数の増加につなかりました。

開設後は、順調に依頼もあり 1 日 2 件程度の活動につながっています。

今後も、啓発を継続的に行い相互援助活動をサポートしていきます。

◇赤い羽根共同募金の推進（P 30～）

地域福祉の貴重な財源である赤い羽根共同募金を推進するため、職員による新規事業所の開拓、行政区を通じ地域住民だけでなく、今年度は共同募金配分を行っている福祉団体・ボランティア団体へも啓発・協力依頼をし募金運動を実施しました。しかし人口増と比較し募金額は伸び悩んでいる状況です。

今後も「新宮町をよくするしくみ」としての募金を啓発しつつ、効果的な募金活動を検討していきます。

事業報告

新宮町社会福祉協議会は、第3次地域福祉活動計画において掲げた「みんなの力で人にやさしい地域づくり」を理念のもと、4つの目標に沿った活動を展開しました。

基本目標1 人がつながる地域づくり

1 ボランティアなどの育成と活動の促進

(1) ボランティア活動に興味を持って参加しよう

① ボランティア情報の提供と派遣

㊦ ボランティアガイドブックの作成と配布

個人・特技、団体ボランティアの周知と啓発のため、ボランティアと協力して手作りのガイドブックを作成しました。

配布先…社会福祉センター、ボランティアセンター、シーオーレしんぐう
そびあしんぐう、講座受講生

配布数…150部

◇ ボランティア依頼者と活動者のコーディネート

問い合わせ（活動希望、依頼） 107件

活動依頼（施設、学校、地域等） 150件

活動者数（個人、特技、団体等） 194人

◇ ボランティア保険の加入手続き

活動保険加入 35人（内災害ボランティア 1人）

② ボランティアセンターや地域でのボランティア講座の開催や支援

新たなボランティアの掘り起こし、活動中のボランティアの資質向上を目的に体験型の講座を開催しました。

プログラムは地域と協働し、講座終了後に体験できる場を設定したり活動につながるように工夫しました。修了生は地域のサロン等へ活動をつなげています。

【ボランティアセンター主催】

◇ 聞こえのサポーター養成講座

実施日	内 容	参加者
4月22日	聞こえない人・聞こえにくい人とのコミュニケーション 手段を学び耳の不自由な人を支える人を広く育成 講師：福岡県要約筆記連合会	22人

◇地域で活かそうスキルアップ講座

地域等で活躍するボランティアを育成することを目的に開催

バルーンアート講座受講生は講座終了後も継続希望者が多く、団体としての活動につながることができました。

セラピューティック・ケアコース		
実施日	内 容	参加者
5月8日	講義①「実技」 講師：認定 NPO 法人 日本セラピューティック・ケア協会	13人
5月15日	講義②「DVD・実技復習」 講師：認定 NPO 法人 日本セラピューティック・ケア協会	13人
6月18日	実践（地域サロン） 緑ヶ浜区	8人
6月26日	実践（地域サロン） 夜臼1区	4人
バルーンアートコース		
実施日	内 容	参加者
5月13日	講義「バルーンアート」 講師：公益財団法人 日本レクリエーション協会 夢バルーンの会代表 太田 紀美子 氏	17人
5月19日	実践（地域サロン） 杜の宮区	3人
5月26日	実践（地域サロン） 緑ヶ浜区	3人
5月28日	実践（地域サロン） 夜臼1区	3人

【ボランティア団体主催 ボランティアセンター協力】

◇傾聴ボランティア講座（主催 傾聴ボランティアそら）

実 施 日	内 容	延べ参加人数
4月24日	①「これで私も聴き上手」 講師 NPO 法人日本ソーシャルコーチ協会 代表理事 富岡 郁雄 氏	25人
2月17日 2月24日	②「傾聴とは何か」 ③「傾聴の基本を学ぶ」	102人

3月 2日	④「傾聴の実際をビデオから学ぶ」 講師 福岡大学人文学部教育臨床心理学科 講師 本山智敬氏	
3月 11日	⑤「終末期を迎えた方のお話」 講師 特別養護老人ホームよりあいの森 施設長 村瀬孝生氏	

◇外遊びボランティア講座（主催 新宮外あそびの会）

子どもの「あそび」について学び、語り、実践する講座

実 施 日	内 容	備 考
11月 12日	講演会 講師 PLAYFUKUOKA 代表 古賀 彩子氏	延べ参加人数 24人
11月 19日	実 践 沖田中央公園	

（2）ボランティア活動を広め応援しよう

①ボランティアセンターの活用

◇ボランティアセンター運営委員

開催日	協議内容
7月 27日	委嘱状の交付（1人）・26年度事業報告・27年度事業計画
11月 30日	平成27年度事業経過報告・平成28年度事業計画（案）

◇ボランティアセンター施設利用状況

平成26年度より2階介護実習室を言葉の教室として利用したため、利用回数・人数とも全体的に増加しています。

月	延べ利用回数	延べ利用人数	開館日数
4月	80	738	25
5月	73	922	24
6月	86	1590	25
7月	70	1243	27
8月	75	847	26
9月	83	2089	24
10月	88	1318	25
11月	80	1219	24
12月	67	1057	23

1 月	76	951	24
2 月	75	1153	23
3 月	86	1157	27
合計	939	14284	297
月平均	78.2	1190.3	24.7
前年比	113%	115%	99%

② ボランティア団体への支援と連携

団体や個人登録者が安心して活動できるよう、活動費の助成や情報提供などの活動支援を行いました。

◇ボランティアセンターNewS の発行（4、7、10、1月）

◇ボランティア登録7団体110人・個人登録者86人

ボランティア名称	主な活動
あやとりの会（手話の会）	手話の通訳活動・奉仕活動。聴覚障がいに関する啓発活動
Shingu 子育て NAVI	子育てに役立つ情報収集と情報誌の作成・発信
ぴよぴよサポート（子育て）	地域子育て支援センター「かんがる一ひろば」の協力
布おもちゃ つむGu	手作りの布の絵本などの製作
傾聴ボランティアそら	地域サロン、施設、福祉センターでの傾聴活動。傾聴カフェ
キッチン G&B	料理を学び、地域貢献などボランティア活動に参加
新宮外あそびの会	子ども達の外遊びを支援する活動
個人ボランティア	技術や特技を活かした活動（点字本の作成・移送サービス運転・剪定・外出支援・手品・小修理など）

◇ボランティア団体間のネットワーク

活動者の相互理解と、交流の促進のため年度後半に一斉交流会を実施。

一斉交流会では、48人の参加があり、ボランティアを始めたきっかけや、福祉のまちづくりのためにアイディアを出し合いました。

<感想（一部抜粋）>

① ボランティアを始めたきっかけ

- ・今まで色々な親切をいただけてきたので
- ・今後の生きがいを見つけるため
- ・福祉だよりの募集を見てから
- ・友人からのお誘い

② ボランティア活動で広がる福祉のまち「しんぐう」アイディアを出し合おう

- ・高齢者と子どもとの交流の場を増やす
- ・自分のできる範囲で無理をせずに！
- ・できることをちょっとだけ、力を貸しあえる意識づくり
- ・ボランティアの楽しさ、良さを口コミで！

③ご自由に～フリーテーマ～

- ・福祉のまちは分かるけど負担感がある
- ・自分の存在を楽しんで
- ・ボランティアが長く続けられるような支援を
- ・新宮の体操を作り大人から子どもまで広める

実 施 日	内 容	参 加 者
5月29日	ボランティア団体情報交換会 ・自己紹介、団体活動紹介 ・新宮町社会福祉協議会理事・評議員選出	各団体代表者
9月18日	糟屋地区ボランティア交流会 情報交換、意見交換	ボランティア代表理事 ボランティアセンター運営委員
11月11日	第2回ボランティア団体情報交換会 ・自己紹介、活動状況 ・一斉交流会の内容について	各団体代表者
3月 4日	ボランティア一斉交流会 ・意見、情報交換 ・交流会 ・ボランティア団体活動紹介	ボランティア団体 個人・特技ボランティア ボランティアセンター運営委員 社会福祉協議会役員

◇ボランティア主催の福祉事業への支援と連携

傾聴ボランティア主催の「傾聴カフェ」は、高齢者や子育て中の親子の癒しの場として回を重ねる毎に参加者が増加しています。今年度の養成講座受講生が今後ボランティアとして活動されることが期待されます。

・傾聴カフェ 延べ参加者407人（H26年度 173人）

2 地域交流の推進

（1）交流・ふれあいの場をつくろう

①地域サロン事業への支援（ふれあいいきいきサロン・子育てサロン）

地域での孤立化防止とつながりづくりの取り組みとして、福祉会を通じて助成金の交付、情報提供等の活動支援を行いました。

今後も開催地区間の情報交換会を行いながら活動支援をしていきます。

◇ふれあいいきいきサロン（高齢者）17地区

ふれあい・いきいきサロン実施区（名称）	開催日時
的野区（元気サロン）	月2回月曜日 10:00～15:00
花立花区（サロン花立花）	第3火曜日 10:00～12:00

ファースト新宮区（地域サロン）	第3木曜日 10:00～12:00
三代区（カラオケサロン）	隔月第4木曜日 11:00～16:00
上府区（いきいきサロン）	第3月曜日 10:00～12:00
緑ヶ浜区（サロン緑ヶ浜）	第3木曜日 9:30～11:30
夜臼1区（夜臼サロン）	第4金曜日 9:30～11:30
夜臼2区（にこにこサロン）	第3土曜日 10:00～12:00
夜臼3区（サロンふじ）	第3日曜日 10:00～12:00
下府1区（ふれ愛サロン）	第2水曜日 9:30～11:30
下府2区（いきいきサロン）	第3金曜日 13:00～15:00
湊坂区（ふれあいサロン）	月1回土曜日 12:00～15:00
桜山手区（わいわいサロン）	第2火曜日 13:30～15:30
パークシティ区（癒しの空間）	第2日曜日 14:00～16:00
新宮区（さわやかサロン）	第3土曜日 10:00～12:00
湊区（ふれあいの会）	第2土曜日 13:30～15:30
相島区（ふれあいいきいきサロン）	第2・4日曜日 13:00～16:00 他未定

◇子育てサロン（子育て中の親子） 10地区 （☆新規）

子育てサロン実施区（名称）	開催日時
花立花区（花立花育児サロンママ友）	毎週水曜日 11:00～17:00
ファースト新宮区	第3木曜日 10:00～12:00
上府区（上府子育てサロン）	第2火曜日 10:00～12:00
中央駅前区	不定期月曜日 10:00～12:00
中央駅西区	第2・4月曜日
緑ヶ浜区（緑ヶ浜子育てサロン）	第2・4火曜日 10:00～12:00
夜臼1区（夜臼1子育てサロン）	第2・4木曜日 10:00～12:00
桜山手区（桜山手子育てサロン）	第2・4土曜日 13:00～16:00
杜の宮区（杜の宮子育てサロン）	毎週火曜日 10:30～12:00
☆湊区（湊区子育てサロン）	第3金曜日 10:00～13:00

中央駅前区と中央駅西区は福祉会がないため助成金未交付。

◇情報交換会

12月 2日（水）・3月14日（月）

◇レクリエーション講座

実 施 日	内 容	参加者
8月19日(水) 13:30～15:30	①「こんにちは！笑顔あふれるレクリエーション」 講師：福岡県レクリエーション協会 佐藤 靖典氏	15人
8月26日(水) 13:30～15:30	②「できるかな ～作る楽しみ・使う楽しみ～」 講師：福岡県レクリエーション協会角田 良子、佐藤 靖典氏	15人
9月 2日(水) 13:30～15:30	③「みんなでワイワイ介護予防」 講師：福岡県レクリエーション協会 佐藤 靖典氏 筑紫野市健康づくり運動サポーターの会	15人
9月 9日(水) 13:30～15:30	④「誰でもできる脳トレーニング」 講師：福岡県レクリエーション協会 佐藤 靖典氏	15人
9月16日(水) 13:30～15:30	⑤「人とのふれあい～レクリエーションでつながり作り～」 講師：福岡県レクリエーション協会 佐藤 靖典氏	15人

◇レクリエーション用具の貸出

スカットボール 6回 介護予防DVD 10回 ダーツセット 10回

輪投げセット 4回 麻雀セット 1回

②子育て支援センターと子育てサロンとの連携

地域サロンへのスタッフ派遣回数…12回

3 福祉意識の向上

(1) みんなで福祉の意識を高めよう

①地域福祉をすすめる福祉学習推進事業

◇ふれあいフェスタ（ふくしまつり）

4月から参加団体を募り、5月に第1回実行委員会を立上げ4回協議を行い、当日は昨年より家族連れが目立ち250人来場者が増加しています。

実 施 日	内 容	来場者
9月13日	ボランティア団体・福祉団体・福祉施設等31団体が参画。 さまざまな福祉体験ができ、福祉を身近に感じることで きるイベント	約850人

◇住民福祉講座

市民後見人養成研修の一部を公開講座として実施

実 施 日	内 容	参加者
3月5日	「老後にそなえて～ニアライフを楽しもう～」 講師：グリーンワークス円縁 ファインジャブ®ランナー 戸田 美佐子氏	34人

◇地域支え合いマップづくり

上府区の2組合で地域の人と作成しました。組合単位で作成する事で高齢者世帯や一人暮らし高齢者等の見守りの必要な人がより明確となり、ボランティアや地域との関係性がわかりやすく見えると共に、地域のつながりの空白化等がより細かに地域の人に認識してもらい今後に活かすことができました。

実 施 日	地 区	参加者
9月8日	上府区(深町東組合)	3人
11月11日	上府区(牟田組合)	10人

②さまざまな媒体を活用した情報の発信（広報誌などの発行）

- ◇広報誌「ふくしだより」の発行（年4回）町広報誌アクティブ新宮の活用
- ◇ホームページの活用

（2）福祉学習（教育）を推進しよう

①児童・生徒への福祉学習（教育）の推進

子どもの頃からの福祉意識の向上を図るため、町内小・中・高等学校8校（小学校4校、中学校2校、高等学校1校、特別支援学校1校）を社会福祉協力校に指定、情報交換会を開催し学校と連携しながら福祉学習の推進を図りました。

◇社会福祉協力校情報交換会

社会福祉協力校の主な事業…特別支援学校との交流、幼稚園・保育園児との交流、敬老招待給食、赤い羽根共同募金活動等

実 施 日	内 容
6月26日	・各学校の平成27年度の取り組みについて ・新宮町地域福祉計画・地域福祉活動計画について ・助成金の交付
3月28日	・27年度進捗状況と評価について ・平成27年度事業報告、平成28年度指定事業の実施について

②ふくし体験学習の推進

ゲストティーチャーの協力のもと、ふくしを体験的に学べる学習を推進しました。児童数の増加に伴い体験学習のプログラム内容を学校、ゲストティーチャーと共に検討し体験プログラムの見直しを図りました。

実 施 日	学校名（学年）	内 容
6月3～5日	新宮小学校（3年生）	バリアフリー施設見学・新宮町を知る
6月24日	児童数 250人	車イス、手話、アイマスク体験
10月28日		障がい者施設見学、手話、点字体験

11月 4日		車イス利用者の話、手話、点字体験
11月 9日	新宮小学校（1年生） 児童数 253人	昔あそび体験
9月9～11日 16日 25日 10月 2日	新宮東小学校（4年生） 児童数 155人	バリアフリー施設見学・新宮町を知る 車イス、アイマスク、手話、シニア体験 車イス利用者の話、手話、地域サロン交流 点字、手話体験、高齢者施設見学
11月13日	新宮東小学校（1年生） 児童数 187人	昔あそび体験
1月27日 2月 4日	立花小学校（6年生） 児童数 30人	高齢者施設見学・交流 シニア体験
9月 9日 2月 2日	福岡特別支援学校 (高等部)生徒数 5人 (小学部)児童数 4人	昔あそび体験 〃

ゲストティーチャー：手話の会、点字ボランティアともしび、老人クラブ、個人ボランティア、視覚障がい者、聴覚障がい者、下肢障がい者、新宮偕同園、福岡コロニー、行政区福祉会

基本目標2 安心して暮らせる地域づくり

1 地域ぐるみの安全対策

（1）地域の見守りネットワークの仕組みをつくろう

①見守りネットワークの充実と支えあう体制づくり

4月から福祉委員の任期満了により、福祉委員33人中、新任者は19人ありました。新任の福祉委員の活動が円滑に行くよう前任者からの引継ぎを確実に依頼しつつ、研修会や行政区訪問等で活動支援を行いました。

また、孤独死の発生した区からの依頼により、組長会にて見守りへの協力依頼を行いました。

◇福祉委員の見守り訪問活動

	延べ訪問回数	延べ見守り対象者数
平成26年度	4, 112回	3, 846人
平成27年度	4, 391回	3, 707人

②小地域活動者研修会

今年度は初めて、新宮町の医療介護と地域社会が連携したまちづくりを目指し、地域住民をはじめ医療従事者や介護従事者を対象に新宮町及び粕屋医師会と共催でシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは地域の立場から夜臼1区福社会と新宮区福社会より住民主体の地域活動について発表があり地域のために活動する「行政区福社会」の活動を広く啓発できる機会にもなりました。

時 期	内 容
4月 3日	福祉委員委嘱状の交付（33人 内新任者19人） テーマ：福祉委員の活動について 平成27年度福祉委員研修計画について
6月 4日	区長（福社会長）への社会福祉協議会事業説明会 ・27年度福社会助成金交付手続き
7月 3日	民生委員・児童委員、福祉委員合同研修会 テーマ：「認知症への理解と地域で支えるために」 講 師：在宅介護者の会「こぶしの会」田中豊子 氏
10月 3日	「シニアが主役のまちづくりを考えよう！」 ※ 医療・介護・地域の連携シンポジウム 対 象：社協役員、評議員、福祉委員、民生委員児童委員 医療・介護関係者、一般住民 内 容：講演「新宮町医療・介護の連携について」 原外科医院医院長 原 速 氏 講演「みんなで考え、みんなで支え合い、みんな笑顔で暮らせるまちづくり」 さわやか福祉財団 阿部かおり 氏 パネルディスカッション コーディネーター さわやか福祉財団 阿部かおり 氏 「医療の立場から」原外科医院医院長 原 速 氏 「介護の立場から」新宮偕同園 西村奈々 氏 「地域の立場から」夜臼1区福社会、新宮区福社会
11月11日	福祉委員 先進地視察研修 視察先：太宰府市社会福祉協議会 内 容：太宰府市での福祉委員の活動について ※出発前に行政よりマイナンバー制度説明
3月16日	民生委員・児童委員、福祉委員合同研修会 テーマ：「障がいのある人の地域での生活について」

	内 容：発 表 新宮町身体障害者福祉協会 平野 正道 氏 障がい児者問題を考える福祉のまちづくり新宮ネットワーク 川本 義道 氏 社会福祉法人 福岡コロニー 前野 保志 氏 ぶーけはうす 松尾 由美子 氏 心身障がい児者親の会 太田 ひとみ 氏 グループワーク・発表
--	--

③暮らしの相談窓口の設置と地域との連携（重複）

・福祉・なんでも相談（年１２回）、無料法律相談（年６回）

（２）災害に強い地域をつくろう

①見守りネットワークの充実と支えあう体制づくり（重複）

②災害ボランティアセンターの設置体制づくり

職員が、災害ボランティアセンター設置運営訓練に参加しました。

（３）防犯及び交通安全対策を推進しよう

①見守りネットワークの充実と支えあう体制づくり（重複）

２ 協働によるまちづくり

（１）みんなで協働を推進しよう

①行政区福祉会への活動支援

４人体制で町内を３分割し福祉会の活動をバックアップしています。

行政区訪問には、今年度新たに地域包括支援センターの職員も同行し、新規事業の介護予防セルフサポートポイント事業についての説明と、新地域支援事業の新たな施行に伴い、今後もさらに充実が望まれる地域福祉活動について意見交換を行いました。

時 期	内 容
６月 ４日	区長（福祉会長）への社会福祉協議会事業説明会 ・２７年度福祉会助成金交付手続き
７月２９日	区長（福祉会長）と社協役員との福祉懇談会 ・福祉会の活動状況や課題等を各福祉会長より報告、情報交換
６月～１２月	行政区福祉会訪問（２０行政区実施） 福祉会長（区長）、民生委員、福祉委員等の福祉会役員と情報交換をし、各地区の活動状況や課題等を共に考え検討するために訪問し地域診断シートを作成しています。

	立花口（6/24）花立花（7/25）三代（9/2）上府（9/14）緑ヶ浜（8/9） 夜臼1（9/25）夜臼3（9/17）夜臼4（8/4）下府1（8/28） 下府2（8/29）湊坂（9/5）パークシティ（6/19）新宮（8/29）湊（8/3）相島（7/15） 的野（10/28）ファーネスト新宮（12/5）夜臼2（11/2）桜山手（11/24）杜の宮（12/5） 原上、中央駅前、中央駅西（3行政区未実施）
--	--

②福祉会長連絡会の立ち上げと連携

③地域担当による小地域福祉活動への支援

⑦地域プロフィール紹介シートの作成と活用

今年度からシートを活用し、行政区訪問時に地域の特徴、社会資源の把握、生活課題や福祉課題の掘り起し、住民組織やボランティア団体の把握、関係機関との連携の状況等の聞き取りを行いました。

28年度から始まる新地域支援事業に向け、地域の強みやニーズを丁寧に把握し、今後の地域づくりに活かすためにもシートを地域活動支援に役立てていけるよう改良や活用をすすめていきます。

④社会福祉法人（福祉施設）、福祉団体、企業やNPOとの連携

◇社会福祉法人情報交換会

実 施 日	内 容
2月24日	町内の高齢者・障害者福祉施設法人 4事業所参加 「地域における公益的な活動」について、現在の実施内容の情報交換及び今後連携は必要。 町内の社会福祉法人への意向を含めアンケート調査実施。

◇福祉団体との情報交換会（11/11 参加7団体）

老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、遺族会、心身障害児者親の会
 母子寡婦福祉会、在宅介護者の会こぶしの会
 障害児者問題を考える福祉のまちづくり新宮ネットワーク
 すまいるしんぐう、ブーケハウス、根っこの会

◇福祉団体主催の福祉事業への支援と連携

行 事 名	主 催	主な事業内容
在宅介護者交流会	こぶしの会	毎月第3火曜日13時30分～15時30分 参加費 無料 在宅で高齢者を介護している人たちの情報交換会や学習会などを企画、実施
ブーケハウス	ブーケハウス （障がいのある人）	毎月第2木曜日13時30分～15時30分 参加費 無料

	とボランティア)	障がいのある人のサロン
ハートルーム	ブーケハウス	毎月第2木曜日13時30分～15時30分 参加費 100円 こころの病を持った人、心が疲れている人の サロン
ピア講座	障がい児者問題を 考える福祉のまち づくりネットワー ク	11月12日(木) 10時～12時 参加費 無料 障がいのある当事者を講師に、障がいを理解 し、住みよい社会について共に考える講演会
ひとり親家庭 学習支援事業	母子寡婦福祉協会	毎週金曜日 18時～20時 参加費 無料 学校事業の補習や宿題などの学習支援

⑤民生委員・児童委員との連携

共に地域福祉を推進する団体として連携を持ち、地域課題に応じた合同研修会の企画・開催等実施しました。

今年度は7/3と3/16の2回開催し、課題共有するとともにグループワークでの意見交換を行い連携を深めることができました。

3 健康づくり・生きがいづくり・就労支援の推進

(1) 健康づくりを推進しよう

①地域サロン事業への支援（ふれあいいきいきサロン・子育てサロン）（重複）

(2) 生きがいづくりを支援しよう

①ボランティアセンターや地域でのボランティア講座の開催や支援（重複）

②シルバー人材センターとの連携

高齢者の就労支援として清掃業務と土日の福祉センター窓口業務を委託

(3) 就労支援を推進しよう

①障がいのある人の雇用の推進

㊦社会福祉センター売店業務を福岡コロニーへ委託

4月から売店及び宴会業務を福岡コロニーへ委託しています。

まごころ製品の販売・売店前でのさをり織の実演により来館者とふれあい、関心を持っていただくきっかけとなっています。

また、館内清掃や事務補助等の業務を依頼し、本会が一般就労へのステッ

プアップの場となるようにしています。

②生活困窮者、相談窓口の広報や紹介（生活困窮者自立支援事業）

・くらしの困りごと相談室（県事業）との連携

基本目標 3 適切な福祉サービスが利用できる地域づくり

1 福祉サービスに関する事業の推進

（１）必要な福祉サービスを提供しよう

①移送サービス

車イス利用者の社会参加の支援として、リフトカーの貸し出しや運転ボランティアによる移送サービスを実施。利用登録者は増加しています。

◇利用状況 登録者 16 人 （運転ボランティア 8 人）

月	申請 件数	実施 件数	不可	キャンセル	実施内訳				ボランティア活動状況		
					移送サービス	リフト貸出	医療機関	社会参加	1人活動	2人活動	計人数
4	11	10	0	1	7	3	8	2	6	1	7件8人
5	14	12	1	1	10	2	6	6	9	1	10件11人
6	14	14	0	0	10	4	8	2	10	0	10件10人
7	14	13	0	1	11	2	8	3	11	0	11件11人
8	11	10	0	1	8	2	8	2	8	0	8件8人
9	14	13	0	1	10	3	11	2	10	0	10件10人
10	14	13	0	1	10	3	11	2	10	0	10件10人
11	12	12	0	0	10	2	9	3	10	0	10件10人
12	13	13	0	0	10	3	11	2	9	1	10件11人
1	9	8	0	1	8	0	7	1	8	0	8件8人
2	11	10	0	1	9	1	8	2	7	2	9件11人
3	10	9	0	1	7	2	7	2	7	0	7件7人
計	147	137	1	9	110	27	102	29	105	5	94件108人

※ 2人活動があるため合計不一致

②車イスの貸し出し

延べ 17 台

③手話通訳派遣事業（町受託）

行政と手話の会と連携し、手話通訳が必要な聴覚障がい者と手話通訳者のコーディネートを行いました。

利用者数	派遣回数	奉仕員数
4 人	7 4 回	4 人

④訪問介護事業（介護保険制度）

年度前半は要介護の高い利用者があり身体での時間数が増加しましたが、その後入院され後半では減少しています。利用者数は一時的な増加にとどまり、ほぼ横ばいです。前年比、利用者数約 2 0 % 増、活動時間約 3 0 % 増となっています。介護予防訪問介護は前年比、利用者数、活動時間約 1 0 % の減少です。

◇訪問介護

	実利用者数	生活	身体	活動合計
4 月	1 2	85.0	74.5	159.5
5 月	1 3	78.5	81.0	159.5
6 月	1 4	93.0	83.0	176.0
7 月	1 6	93.5	84.0	177.5
8 月	1 3	90.0	64.0	154.0
9 月	1 4	85.5	63.0	148.5
1 0 月	1 4	86.0	69.0	155.0
1 1 月	1 3	94.5	59.5	153.5
1 2 月	1 3	80.0	58.5	138.5
1 月	1 2	81.0	43.0	124.0
2 月	1 3	84.0	44.0	128.0
3 月	1 2	83.0	42.0	125.0
合計	159	1034.0	765.5	1799.5
H27 平均	13.2	86.1	63.7	149.9
H26 合計	130	1047.0	341.0	1387.0

(単位／人)

(単位／時間)

◇介護予防訪問介護

	要支援 1	要支援 2	実利用者数	活動合計
4 月	1 6	8	2 4	137.0
5 月	1 4	1 1	2 5	150.0
6 月	1 5	9	2 4	130.0

7月	14	10	24	138.0
8月	15	9	23	120.0
9月	14	10	24	128.5
10月	14	9	24	138.5
11月	16	9	25	137.5
12月	17	7	24	156.5
1月	18	7	25	139.5
2月	20	6	26	132.5
3月	19	7	26	163.0
合計	192	102	294	1671.0
H27 平均	16	8.5	24.5	139.2
H26 合計	218	94	312	1839.5

(単位／人)

(単位／時間)

⑤居宅介護事業（障害者総合支援法）

	実利用者数	生活	身体	活動合計
4月	1	11.0	0	11.0
5月	1	11.0	0	11.0
6月	1	13.0	0	13.0
7月	1	9.0	0	9.0
8月	1	8.0	0	8.0
9月	1	2.5	0	2.5
10月	1	2.5	0	2.5
11月	1	5.0	2.5	7.5
12月	1	4.0	0	4.0
1月	1	2.0	0	2.0
2月	1	4.0	0	4.0
3月	1	1.5	0	1.5
合計	12	73.5	2.5	76.0

(単位／人)

(単位／時間)

⑥ホームヘルプサービス事業（町受託）

利用者は1人。年度後半は入院の為利用中止になっています。

	実利用者数	生活	身体	活動合計
4月	1	2.5	0	2.5
5月	1	2.0	0	2.0
6月	1	2.5	0	2.5
7月	1	2.0	0	2.0
8月	1	1.5	0	1.5
9月	0	0	0	0
10月	0	0	0	0
11月	0	0	0	0
12月	0	0	0	0
1月	0	0	0	0
2月	0	0	0	0
3月	0	0	0	0
合計	5	10.5	0	10.5

（単位／人）

（単位／時間）

⑦ひとり親家庭等日常生活支援事業（町受託）

体調不良の母親のかわりに幼稚園の送迎をしました。

	実利用者数	活動合計
4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	1	7.0
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
合計	5	7.0

（単位／人）

（単位／時間）

⑧あんしん生活支援事業

今年度は２％増でした。利用者は、介護保険非該当者が多い半面、介護保険該当者も介護保険では出来ない範囲の掃除や限度額を超えた利用に対して自費で依頼する人もいます。住民への福祉サービスの一環として実施している３０分ワンコインサービス（５００円）は安価なため、介護保険制度に代わり利用される人もあり本来の目的から外れてきたため、今年度はサービスの利用内容を含め、周知を図りました。

ワンコインサービスは、電球の取り換えなど一時的な利用のニーズに即対応できるため、今後も使い勝手の良い住民への低額サービスとして引き続き啓発実施していきます。

	実利用者数	生活	身体	活動合計
４月	２０	54.0	24.5	78.5
５月	２２	53.5	19.0	72.5
６月	２０	55.0	14.0	69.0
７月	１９	63.5	5.5	69.0
８月	１８	56.0	7.5	63.5
９月	１９	61.5	18.5	80.0
１０月	２０	72.5	21.5	94.0
１１月	２４	76.5	7.0	83.5
１２月	２２	76.5	17.0	93.5
１月	２１	49.0	7.5	56.5
２月	２０	55.5	8.0	63.5
３月	２０	60.0	14.5	74.5
合計	245	733.5	164.5	898.0
H27 平均	20.4	61.1	13.7	74.8
H26 合計	217	722.5	147.5	874.5

(単位／人)

(単位／時間)

⑨地域生活支援事業（町受託）

障がいのある人の外出支援で利用されています。

	実利用者数	活動合計
４月	２	９．５
５月	２	１４．５
６月	２	１３．０
７月	２	１５．０

8月	2	9.5
9月	2	9.5
10月	1	13.0
11月	1	12.0
12月	1	9.5
1月	1	9.5
2月	1	6.5
3月	1	9.0
合計	18	130.5

(単位／人)

(単位／時間)

⑩生活福祉資金貸付事業（県事業・町事業）

㊦生活困窮者への食糧一時貸付

昨年度と比較し一時貸付件数は増加しています。これまで生活保護費までのつなぎとして一時貸付を行っていましたが、食糧一時貸付としての貸付も行うことでその日の食事に困窮している人への支援も行うことができました。

また、九電よりレスキューフーズの寄贈もあり相談時にお渡ししています。

今後も民生委員や福祉委員、行政と連携をはかりながら継続的な見守りを行い現状の把握をしながら、相談時に生活費の見直しのアドバイス等対応をしていきます。

◇新宮町生活福祉資金

・一時生活資金 11件 85,000円

貸付日	金額	世帯形態	理由
4月7日	10,000	単身	車上生活で所持金がない
4月23日	10,000	母子	財布を落とした
5月22日	10,000	母子	家電の故障により購入後、生活費が不足
7月13日	10,000	夫婦	電気も止められ、生活費が不足
8月19日	5,000	単身	体調不良で入院したいが交通費が不足
9月14日	5,000	夫婦	電気窃盗をしてしまい、電力会社と電気代を少しでも払う約束をしたため
10月22日	4,000	夫婦	ツケで買い物をした支払いにより食費がなくなったため
11月13日	10,000	親子	ノロウイルスに感染し、仕事に行けず、今月の収入がほとんどないため
12月7日	10,000	単身	生活保護までのつなぎとして

12月11日	1,000	夫婦	食材を買うお金がなく、数日前に車の接触事故を起こしており、栄養不足によるストレスと主張されたため
1月7日	10,000	单身	11月に狭心症と診断され仕事ができいていないため

・就学支度資金 0件 0円

※県生活福祉資金（教育支援資金）が給付されるまでのつなぎ貸付制度。

◇新宮町生活福祉資金貸付金償還滞納者（16件）への対応。

・生活福祉資金 6件 所在等調査中。

・就学支度資金 7件 1件償還終了。6件訪問、振込等にて徴収中。

・福祉資金 1件 現在本人からの連絡待ち。

◇福岡県生活福祉資金

・福祉資金・緊急小口資金 1件 100,000円

・教育支援資金教育支援費 13件 18,255,000円

⑪会食型食事サービス（ひまわり会）

一人暮らしの70歳以上の高齢者を対象に孤立化を防ぐ取り組みとして実施しています。

実施日	内容	参加者
6月25日	食事（ひとまるの里のお弁当）と 安来節ボランティア	56名
11月26日	食事（ひとまるの里のお弁当）、バルーンアート ボランティア、銭太鼓ボランティア、新宮杜の宮 コスモス保育園園児との交流	49名

⑫日常生活自立支援事業

町内に有料老人ホーム等の福祉施設が増えたこともあり、相談件数、利用者数ともに増加傾向にあるため、本会登録の市民後見人養成研修修了生が支援員として3人活動しています。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
高齢者	契約者数	8	7	7	7	7	7	6	7	7	7	7	7
	活動回数	8	6	6	10	9	6	8	9	10	7	9	9
知的障害者	契約者数	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	活動回数	6	7	4	6	3	5	6	3	5	3	4	3
精神障害者	契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	活動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑬法人後見事業

◇市民後見人フォローアップ研修（町受託）

昨年受講された市民後見人養成研修受講生に対するフォローアップと広く住民に成年後見制度について啓発することを目的に開催しました。

実 施 日	内 容	参加者数
6月20日（土）	①司法統計に見る福岡の後見の実績と推計 ②家裁からの後見人等に対する事務メッセージ ③後見に関する登記事項証明書の読み方 講師：後見の杜	22人
7月25日（土） ※公開講座	④「成年後見制度ってなに？」 講師：リーガルサポート福岡	21人
8月 8日（土）	⑤後見が必要かどうかの見分け方 ⑥後見費用の試算方法 ⑦後見に関する相談対応の実務 ⑧後見プラン表 講師：後見の杜	21人
11月14日（土）	⑨未成年後見の実務 ⑩障がい者の親が取るべき選択肢 ⑪後見周辺領域の実務と動向 講師：後見の杜	14人
11月28日（土）	⑫対人援助技術～利用者とのコミュニケーション～ 講師：日本ソーシャルコーチ協会	14人
3月5日（土） ※公開講座	⑬「老後にそなえて～ニエライフを楽しもう～」 講師：グリーンワークス円縁	34人

◇後見事業啓発等支援事業（町受託）

住民に対し、成年後見制度と日常生活自立支援事業への理解を深めてもらうため、NPO法人Iサポートと連携し、地域の組長会や地域サロンに出張説明会を開催しました。 計10地区

日 時	行政区	参加者数
平成27年12月14日（土）	相島区	30人
12月19日（土）	湊坂区	42人

平成28年1月14日(木)	上府区	39人
1月16日(土)	新宮区	25人
1月17日(日)	パークシティ区	11人
1月19日(火)	花立花区	20人
1月20日(水)	杜の宮	14人
1月30日(土)	緑ヶ浜区	45人
2月19日(金)	下府2区	20人
2月26日(金)	夜臼1区	20人

◇しんぐう成年後見センターの推進

日常生活自立支援事業での対応が困難になった利用者1名を、継続的な支援を行うため成年後見制度への移行をすすめ本会の受任が決定し後見活動を行いました。

実 施 日	内 容
7月10日	成年後見運営委員会 委嘱状の交付（弁護士、医師、司法書士、社会福祉士、行政） 後見人等の適否審議（1件）
8月18日	親族申立（家庭裁判所）
8月26日	後見開始の審判
9月12日	審判の確定
9月～3月	毎月の見守り活動と支払いを含む預貯金の管理 生命保険や介護保険関係等の請求手続き

㊦困難相談ケースへの専門家と連携した対応（町受託）

今年度はありませんでした。

⑭地域子育て支援拠点事業 子育て支援センター（町受託）

日々の相談支援をはじめとした各年齢のつどいでの悩み相談への対応、季節に応じたイベント等で利用者の交流を促すと共に、子育てに役立つマナー講座、防災教室など親の育児力アップを図りました。

◇かんがるーひろば登録者数・利用延べ人数（※開所は週5日）

	登録者数			利用人数			
	H26年度	H27年度	前年度比	H26年度	H27年度	前年度比	開所日
保護者	717人	739人	103%	6061人	6389人	105%	243日
子ども	812人	862人	106%	6870人	7386人	108%	

◇かんがる一ひろば相談件数・内容

食 事	トイレトレーニング	言葉の発達	歯	その他	合計
13	2	14	1	46	76

- ・その他相談内容…子育てサロン、幼稚園について、アレルギー、癩癩、育児ストレス、断乳、障がいのある兄弟と過ごせる場所、産後の生活不安、発育不安、つわり、育てにくさ等

㊦出張ひろば

「かんがる一ひろば」まで来所するのが困難な親子が気軽に足を運べるための開放型支援センターを6月から週に1回の野区で開所しています。

的野区福祉会をはじめ、ボランティアの協力もあり地域の人との交流の場にもなっています。自然とふれあえる広い場所であるため、元気に外で走りまわれる場所ができ好評です。

- ・延べ参加者数 保護者308人、子ども367人、ボランティア91人

⑮ファミリー・サポート・センター事業（町受託）

㊦センター体制の整備、行政との連携

9月事業開始のため、アドバイザー2名を雇用し環境整備、事業の啓発等の開設準備をすすめました。

◇啓 発

- ・広報誌（アクティブ新宮、ふくしだより）掲載
- ・ポスター・チラシの設置（公共機関・駅・行政区・商業施設・病院）
- ・チラシの配布・回覧（行政区・老人クラブ・町立幼稚園・私立幼稚園・町立小・中学校・学童保育所・町内保育所・乳幼児健診）

㊦提供会員（援助希望者）と依頼会員（支援希望者）の養成・登録

年2回の提供会員、依頼会員は月2回のペースで講習会・会員登録を行いました。依頼会員養成講習会は開催日以外にも柔軟に対応したり、地域にも出向き広く会員を募りました。

◇第1回提供（両方）会員養成講座 受講時間10時間（19名が受講、登録）

実 施 日	内 容
7月22日	①ファミリーサポート事業とは 講師：役場健康福祉課、社協 ②子どもの身体の発育と病気 講師：福岡市立こども病院 副院長 青木知信氏
7月24日	③子どもの生活とメディア 講師：福岡教育大学 教授 井上豊久氏

	④子どもに起きやすい事故の予防と手当て 講師：日本赤十字社福岡県支部 主査 坂本峰子氏
7月29日	⑤子どもの遊び 講師：立花幼稚園 園長 栗原幸子氏 ⑥実践報告 講師：福岡市ファミリーサポートセンター 東支部 アドバイザー 久保直美氏
7月31日	⑦子どもの発達と理解 講師：福岡女学院看護大学 准教授 原崎聖子氏 ⑧会員登録について 講師：社協

◇第2回提供（両方）会員養成講座 受講時間10時間

（8名受講、7名登録、1名依頼会員へ登録）

実施日	内容
11月13日	①子どもの生活とメディア 講師：福岡教育大学 教授 井上豊久氏 ②ファミリーサポート事業とは 講師：役場健康福祉課、ファミサポ
11月18日	③子どもの身体の発育と病気 講師：福岡赤十字病院 看護師 古庄富美子 ④実践報告 講師：福岡ファミリーサポートセンター東支部 アドバイザー 久保直美氏
11月20日	⑤子どもの発達と理解 講師：福岡女学院看護大学 助教授 原崎聖子氏 ⑥子どもの遊び 講師：立花幼稚園 園長 栗原幸子氏
11月25日	⑦子どもに起きやすい事故の予防と手当 講師：日本赤十字社福岡県支部 幼児安全法指導員 松嶋恵美子氏 ⑧会員登録について 講師：ファミサポ

◇依頼会員登録講習（月2回＋サロンなどへ出張講座を開催）

依頼会員になるための登録講習会を月に2回（水曜日、土曜日）と別途要望があり次第、個別やサロンへ出張を行っています。

実施日	場所	参加者
8月19日	ボランティアセンター研修会議室	5人
8月22日	ボランティアセンター研修会議室	3人
9月14日	ボランティアセンター事務所（個別）	1人
9月16日	ボランティアセンター研修会議室	11人
9月26日	ボランティアセンター研修会議室	10人
10月14日	ボランティアセンター研修会議室	6人
10月17日	ボランティアセンター研修会議室	8人
11月7日	ボランティアセンター研修会議室	5人
11月11日	ボランティアセンター研修会議室	7人
11月25日	ボランティアセンター研修会議室（提供受講者）	1人
11月27日	ボランティアセンターミーティングルーム（個別）	1人
12月5日	ボランティアセンターミーティングルーム	6人
12月9日	ボランティアセンター研修会議室	1人
12月22日	希望者自宅（個別）	1人
1月6日	ボランティアセンターミーティングルーム（個別）	1人
1月7日	新宮町役場	5人
1月16日	ボランティアセンター研修会議室	4人
1月20日	ボランティアセンター研修会議室	10人
1月26日	ボランティアセンターミーティングルーム（個別）	1人
2月9日	杜の宮サロン（サロン出張）	8人
2月13日	ボランティアセンター研修会議室	5人
2月17日	ボランティアセンター研修会議室	9人
3月5日	中央駅前区子育てサロン（サロン出張）	10人
3月12日	ボランティアセンター研修会議室	4人
3月16日	ボランティアセンター研修会議室	5人
3月25日	ボランティアセンターミーティングルーム（個別）	1人

◇登録状況（3月末現在） ※資料1

提 供	依 頼	両 方	総数
21人	127人	4人	152人

◇活動状況 133件

主な活動内容…保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり
子どもの習い事等の場合の援助

- ◇ファミリーサポートセンター研修会参加（アドバイザー）
- ◇フォローアップ研修（1/16） 8 人参加
- ◇交流会（1/16） 1 1 人参加

⑩子育てサポーター養成事業

⑪福祉センターの活用 ※資料 2

㊦福祉バスの購入

福祉バス購入の概要		事業総額	5, 4 8 6, 6 5 7 円
実 施 日	内 容		
6 月 1 0 日	業者指名 6 社		
6 月 2 4 日	入札 4 社応札 落札額 5, 0 4 0, 6 5 7 円（税抜き） 業者名 三菱ふそうトラック・バス（株）		
9 月 3 0 日	納車 契約額 5, 4 3 2, 6 5 7 円（内消費税 3 9 3, 8 2 3 円） ※税金の関係で 1 8 2 3 円安くなっている。		
2 月 1 日	マイク設備取り付け 5 4, 0 0 0 円（内消費税 4, 0 0 0 円）		

<福祉センター修理箇所> （H26 年度 2 1 カ所）

修理カ所 1 5 カ所	屋外	カーポート設置 区画線設置 水銀灯修繕 トイレ雨漏り補修
	福祉センター	排水管洗浄 消防用設備修繕 受水槽盤漏電補修
	福祉センター	女性浴室 排水管洗浄
	福祉センター	大広間 スイッチ
	福祉センター	調理室 シンク
	福祉センター	研修室 空調取替
	福祉センター	ポンプ室 ろ過ポンプ修繕
	福祉センター	事務室 電話機修理 事務用パソコン 修繕 監視カメラ設備修繕

⑱サービスの創出（開発）

㊦生活困窮者支援対策事業の調査研究

郡内社会福祉協議会での情報交換会、研修会への参加により情報収集し、町内社会福祉法人と連携し、本町にあった事業の研究を継続的に検討していきます。

（２）福祉サービス向上のために取り組もう

①事業スタッフの研修会及び勉強会の実施と質の向上

②社会福祉法人や施設等との連携（重複）

（３）情報収集体制を充実しよう

①さまざまな媒体を活用した情報の発信（広報誌などの発行）（重複）

・ 広報誌やホームページの活用（再掲）

２ 相談支援体制の充実

（１）相談支援体制を充実させよう

①暮らしの相談窓口の設置と地域との連携

㊦相談窓口啓発カードの配布

配布先…役場、シーオーレ新宮、そぴあ新宮、社会福祉協議会の窓口
地域での成年後見制度等説明会時配布

◇心配ごと相談事業（毎月第２火曜日 １０時～１５時）

平成２７年４月１４日（火）	２件
５月１２日（火）	２件
６月 ９日（火）	２件
７月１４日（火）	１件
８月 ４日（火）	１件
９月 ８日（火）	２件
１０月１３日（火）	３件
１１月１０日（火）	２件
１２月 ８日（火）	３件
平成２８年１月１２日（火）	０件
２月 ９日（火）	１件
３月 ８日（火）	２件

◇法律相談事業（奇数月の１５日 １３時～１６時）

平成27年5月15日（金）	5件（キャンセル待ち0件）
7月15日（水）	4件（キャンセル待ち0件）
9月15日（火）	6件（キャンセル待ち0件）
11月17日（火）	6件（キャンセル待ち1件）
平成27年1月15日（金）	3件（キャンセル待ち0件）
3月15日（火）	6件（キャンセル待ち0件）

②地域担当による小地域福祉活動への支援（重複）

3 権利擁護の充実

（1）権利を守ろう

①暮らしの相談窓口の設置と地域との連携（重複）

②法人後見事業（成年後見制度）（重複）

③ふくし体験学習の推進（重複）

基本目標 4 社会福祉協議会の基盤強化

社会福祉協議会の事業をとおして、住民や行政の信頼に応え得る組織づくりを進めるため、自主財源の確保及び、本会の組織体制の強化を図ります。

1 社会福祉協議会の基盤強化

（1）自主財源の確保に努めよう

①会員制度への加入促進

1～6月にかけて区長を通じ住民への加入推進を依頼し、区長・組長協力のもと年度前半で全行政区加入促進を終了することができました。

賛助会員：1, 135人 1, 181, 000円

特別会員 8人 80, 000円

寄附のみ 23, 750円

合計 1, 143人 1, 284, 750円

昨年度（1,068人、 1, 161, 605円）

②赤い羽根共同募金運動の促進 ※資料 3

街頭募金・戸別募金・事業所募金・職域募金・学校募金及び募金箱の回収設置等、募金運動を実施しました。また、地域住民だけでなく今年度は共同募金配分を行っている福祉団体・ボランティア団体へも啓発を行いました。

・ 10/1（木）、11/3（火）街頭募金実施

③チャリティー事業への支援

◇第27回福祉バザー（11/3）372,887 円（H26 321,458 円）

◇第24回チャリティーボウリング大会（2/12）230,000 円（H26 200,000 円）

④新たな財源の開発

⑤新会計基準への円滑なる移行

今年度新会計基準へ移行し、検証を会計士と共にすすめました。

（2）社会福祉協議会の組織体制を強化しよう

①理事会及び評議員会の充実

本年は任期満了の年のため、選考委員会を開催し学識経験者の選考を実施しました。

<選考委員会>

実施日	協議内容
4月28日	委員長及び副委員長の選出 理事・監事・評議員（学識経験者）候補者選考について
5月25日	理事・監事・評議員（学識経験者）候補者選考について 候補者への打診

<理事会>

日 時	出 席 (理事／監事)	議 案 その他協議事項
5月27日 9:30	7 / 2	第6号議案 専決処分の承認について 第7号議案 平成26年度事業報告について 第8号議案 平成26年度一般会計資金収支決算について 第9号議案 平成26年度共同募金資金収支決算について 監査報告 第10号議案 定款施行細則の一部を改正する細則の制定について その他 ・生活福祉資金一時貸付要綱の全部の改正について

		・ボランティアセンター運営委員会設置規則の一部の改正について ・出張子育てひろば（新規）について ・ファミリーサポートセンター事業（新規）について ・２０１５ふれあいフェスタについて
６月２６日 １３：３０	７／０	第１１号議案 評議員の選任同意について その他 ・理事会について
７月 １日 ９：３０	９／２	委嘱状交付 第１２号議案 会長・副会長の選任について 協議事項 ・常任委員会の編成及び正副委員長の選任 ・ボランティアセンター運営委員の選任 ・会員制度推進委員の選任 ・生活福祉資金貸付審査委員の選任 ・ふれあいフェスタ実行委員の選出 ・理事・監事及び評議員候補者の選考委員の選出 ・事業スケジュールについて
１０月１日 １３：００	１０／２	第１３号議案 平成２７年度一般会計資金収支第１次補正予算について その他 ・平成２７年度上半期事業報告について ・糟屋地区社協災害時相互支援協定について ・赤い羽根共同募金について ・第２７回福祉バザーについて
１２月２２日 １０：００	１０／０	地域福祉推進委員会報告 ・福祉バスの運行管理について 平成２８年度事業概要について 平成２８年度資金収支当初予算概要について

3月24日 10:00	10 / 1	第1号議案 専決処分の承認について 第2号議案 専決処分の承認について 第3号議案 平成27年度一般会計資金収支第4次補正予算について 第4号議案 経理規程の一部を改正する規程の制定について 第5号議案 平成28年度事業計画について 第6号議案 平成28年度当初資金収支予算について 第7号議案 平成28年度共同募金資金収支予算について その他 ・福祉バスのアンケート結果について ・あんしん生活支援事業について ・役員、評議員、職員研修について
----------------	--------	--

<評議員会>

日 時	出 席 (評議員／監事)	議 案 その他協議事項
5月27日 13:30	16 / 1	第4号議案 専決処分の承認について(26年度専決第1号) 第5号議案 平成26年度事業報告について 第6号議案 平成26年度一般会計資金収支決算について 監査報告 その他 ・出張子育てひろば(新規)について ・ファミリーサポートセンター事業(新規)について ・2015ふれあいフェスタについて
6月26日 14:30	14 / 0	第7号議案 理事・監事の選任について その他 ・理事会について ・評議員会について
7月 1日 9:30	18 / 0	委嘱状交付 理事・監事及び評議員候補者の選考委員の会長指名 新宮町社会福祉協議会について
10月1日 15:00	18 / 0	第8号議案 平成27年度一般会計資金収支第1次補正予算について その他 ・平成27年度上半期事業報告について ・糟屋地区社協災害時相互支援協定について ・赤い羽根共同募金について ・第27回福祉バザーについて

3月24日 13:30	21/0	第1号議案 専決処分の承認について 第2号議案 専決処分の承認について 第3号議案 平成27年度一般会計資金収支第4次補正予算について 第4号議案 平成28年度事業計画について 第5号議案 平成28年度当初資金収支予算について その他 ・福祉バスのアンケート結果について ・あんしん生活支援事業について ・役員、評議員、職員研修について
----------------	------	---

<監査>

実施日	内 容
5月18日	平成26年度決算監査
11月19日	平成27年度中間監査

<地域福祉推進委員会>

福祉バスの購入に伴い貸出回数について協議しました。

実施日	内 容
12月3日	福祉バスの貸出について 結果：アンケート調査の実施

②職員の研修会及び勉強会の実施と質の向上

◇役職員研修

実施日	内 容
8月22日	講義「介護保険制度の改正と社会福祉協議会の役割」 講師 福岡県立大学 人間社会学部 准教授 村山浩一郎氏
3月29日	講義「新地域支援事業への社会福祉協議会の取り組み」 講師 嘉麻市社会福祉協議会 事務局長 木山淳一氏

③効率的な組織運営体制の見直し検討

㊦行政の地域包括支援センターへの研修生（職員）派遣

④マスコットキャラクターの作成

㊦愛される社協キャラクターの公募

本会の認知度を向上させるため、公募により愛される社協キャラクターの募集を行い最優秀賞の1作品を決定し社協キャラクターココロちゃんが誕生しました。

◇キャラクター決定まで

実 施 日	内 容	備 考
6月25日	ふくしだより・HP掲載により 周知	
7月夏休み前	社会福祉協力校に依頼	
7月17日	募集開始	
9月 4日	募集締め切り	応募総数58作品
9月 9日	審査会（1次審査） 委員5人（社協理事・評議員、福祉団体・ ボランティア団体、中学校美術教員）	点数制により5作品選定
9月13日	ふれあいフェスタ2015 参加者による投票（最終審査）	5作品のうち 最優秀賞・優秀賞を決定
9月14日	開 票 投票数 612票	1位 228票 「ココロちゃん」
9月15日	告示	福祉センターロビー

◇キャラクターの活用

- ・福祉バス「愛称ココロちゃん号」
- ・社協封筒への印刷
- ・福祉センター内案内表示
- ・窓口にヌイグルミの設置（協力：ボランティア布オモチャつむGu）
- ・その他文書やFAX送付書など

⑤計画の推進・評価体制づくり

- ㊦第3次新宮町地域福祉活動計画推進委員会の設置・事業評価
委員会メンバーの検討を行い次年度設置します。